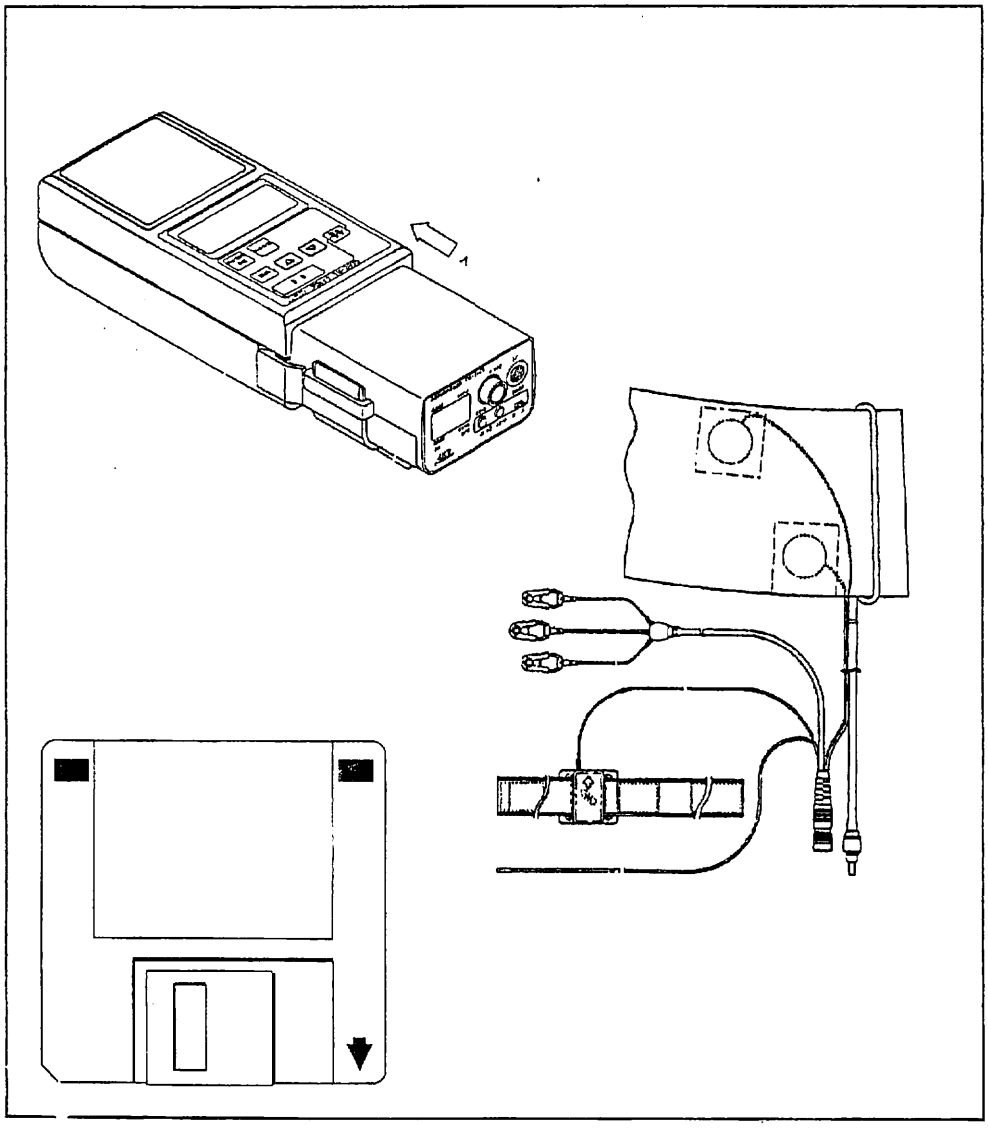
TM－2425／2025

携帯型自動血圧心拍計用ソフト

取扱説明書



株式会社 エー・アンド・デイ

v.1.a

ご注意

（1） 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
（2） 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
（3） 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気ずきの点がありましたら、お買い求めの販売店または最寄りのエー・アンド・デイへご連絡ください。
（4） 当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、（3）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 1993 株式会社 エー・アンド・デイ
株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

目　次

メニューの概略 …… 1
メニューの構成と役割 …… 2

1　環境設定 …… 3
1－1　環境設定の起動 …… 3
1－2　システム設定 …… 3
1－3　ファイル設定 …… 4

2　ファイル指定・登録 …… 5

3　ＴＭ２４２５データ入力、データファイル作成 …… 5
3－1　データ入力の起動 …… 5
3－2　接続状態の確認 …… 6
3－3　時間モードの設定 …… 6
3－4　患者情報 …… 6
3－5　データセレクトメニュー …… 7
3－5－1　血圧、１分値データ …… 7
3－5－2　血圧、１分値データ、ＲＲ間隔データ …… 7
3－5－3　全測定値データ …… 7

4　データ処理 …… 8
4－1　時系列データ表示 …… 8
4－1－1　時系列データリスト …… 9
4－1－2　グラフ表示メニュー …… 12
4－1－2－1　選択グラフメニュー …… 13
4－1－2－2　全てのデータを表示 …… 15
4－1－2－3　グラフ表示の終了 …… 18
4－1－3　ヒストグラム …… 19
4－1－4　データ表示の終了 …… 20
4－2　イベントＥＣＧ波形表示 …… 20
4－2－1　イベントＥＣＧ波形表示の起動 …… 20
4－2－2　心電波形の表示（２４時間測定モード） …… 21
4－2－3　心電波形の表示（４８時間測定モード） …… 24
4－3　データ解析 …… 25
4－3－1　ＥＣＧデータ解析の起動 …… 25
4－3－1－1　１２分間ＥＣＧスーパーインポーズ …… 25
4－3－1－2　ＲＲスペクトラム …… 29

４－３－１－３　ＲＲローレンツプロット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
４－３－１－４　ＥＣＧデータ解析の終了 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
４－４　プリンティングレポート ・・ 31
４－４－１　プリントアウト設定 ・・ 31
４－４－２　血圧データ設定 ・・・ 31
４－４－３　プリントアウト ・・・ 32
４－４－４　印刷の終了 ・・ 32

メニューの概略

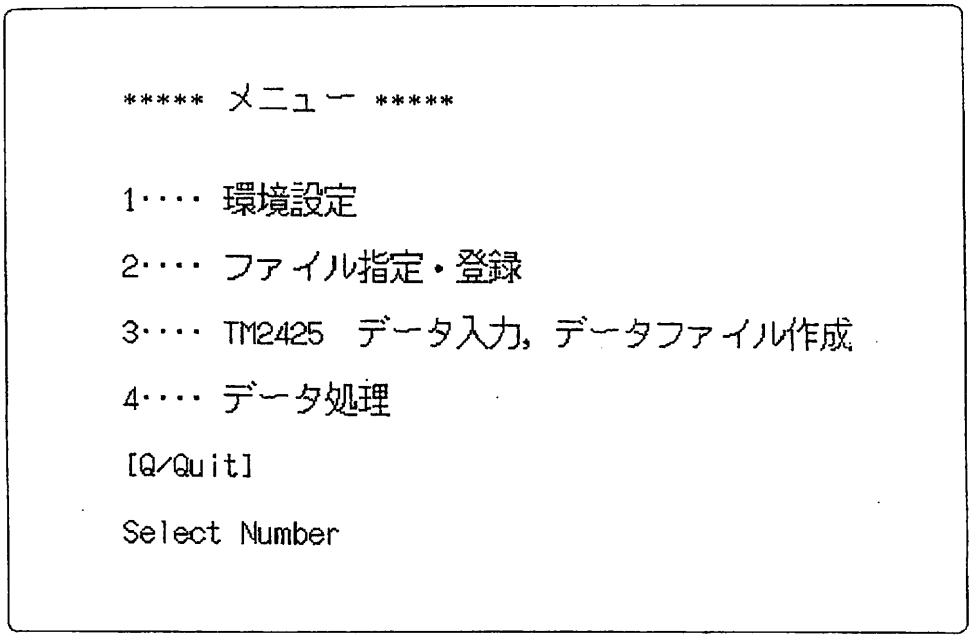


図　1

1 ····環境設定　データドライブ（パス）の指定とファイル名の設定を行います。
2 ····ＴＭ２４２５　　データ入力、データファイル作成
　　ＴＭ２４２５で測定されたデータのパソコン上への取り込みと（１）で指定したドライブにデータファイルを作成します。
3 ····時系列データ表示
　　データのテーブル表示、トレンドグラフ及びヒストグラムを表示をします。
4 ····イベントＥＣＧ波形表示
　　イベント入力されたＥＣＧデータの波形表示（全波形表示と拡大波形表示）、と１mvの基準パルス波形表示、基準波形表示をします。
5 ····プリンティングレポート
　　取得データのレポートを作成します。
6 ····データ解析
　　ＥＣＧデータを解析します。
　　・１２分間心電図のスーパーインポーズ表示
　　（0.5mm　×　24　or　0.25mm　×　48）
　　・ＲＲスペクトラム解析
　　・ＲＲローレンツプロット表示

※図１の表示で〔Ｑ〕を押すと、データ処理を終了しＭＳ－ＤＯＳコマンドの入力待ち状態となります。

メニューの構成と役割

- メニュー
  - 1.環境設定
    - 1.ｼｽﾃﾑ設定 — ﾌﾟﾘﾝﾀ改行ｺｰﾄﾞの設定
    - 2.ﾌｧｲﾙ設定 — ﾃﾞｰﾀﾌｧｲﾙのﾄﾞﾗｲﾌﾞとﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ設定
  - 2.ﾌｧｲﾙ指定・登録 — ﾃﾞｰﾀﾌｧｲﾙ名を入力
  - 3.TM2425ﾃﾞｰﾀ入力、ﾃﾞｰﾀﾌｧｲﾙ作成 — 時間ﾓｰﾄﾞの設定 / 患者情報の設定 / ﾃﾞｰﾀｾﾚｸﾄ(測定方法設定)
    条件‥ 1.環境設定、2.ﾌｧｲﾙ指定・登録が設定済みであること。
  - 4.ﾃﾞｰﾀ処理
    - 1.時系列ﾃﾞｰﾀ表示
      - 1.時系列ﾃﾞｰﾀﾘｽﾄ
      - 2.時系列ﾃﾞｰﾀｸﾞﾗﾌ表示
        - 1 選択ﾃﾞｰﾀ表示
          - 1 収縮期血圧(SYS)
          - 2 拡張期血圧(DIA)
          - 3 脈拍(PUL)
          - 4 心拍(H.R)
          - 5 加速度(ACT)
          - 6 気温(TENP)
          - 7 STレベル(ST)
          - 8 不整脈・RR間隔法(PR50)
          - 9 不整脈・RR間隔法(VPC)
        - 2 全てのデータを表示
      - 3.ﾋｽﾄｸﾞﾗﾑ
        - 1 収縮期血圧(SYS)
        - 2 拡張期血圧(DIA)
        - 3 脈拍(PUL)
        - 4 心拍(H.R)
        - 5 加速度(ACT)
        - 6 気温(TENP)
        - 7 STレベル(ST)
        - 8 不整脈・RR間隔法(PR50)
        - 9 不整脈・RR間隔法(VPC)
        - 10 体位(Positon)
    - 2.ｲﾍﾞﾝﾄECG波形表示
      - 1
      - 2
      - 3
      - 4

      [Event ECG WAVE FORM]
    - 3.ﾃﾞｰﾀ解析
      - 1.12分間ECGｽｰﾊﾟｰｲﾝﾎﾟｰｽﾞ
      - 2.RRｽﾍﾟｸﾄﾗﾑ
      - 3.RRﾛｰﾚﾝﾂﾌﾟﾛｯﾄ
    - 4.報告書作成
      - 1.ﾌﾟﾘﾝﾄｱｳﾄ設定 — 血圧ﾃﾞｰﾀﾘｽﾄ / ECGﾃﾞｰﾀ / 環境ﾃﾞｰﾀ(ｸﾞﾗﾌ)
      - 2.血圧ﾃﾞｰﾀ設定 — ｵｼﾛﾒﾄﾘｯｸ法
      - 3.ﾌﾟﾘﾝﾄｱｳﾄ

１．　環境設定
　　データの保管場所やＩＤ番号の設定を行います。

☆操作手順
１－１　環境設定の起動
　　メニュー（図１）で〔１〕を押すと、図２のように「環境設定メニュー」の表示となります。

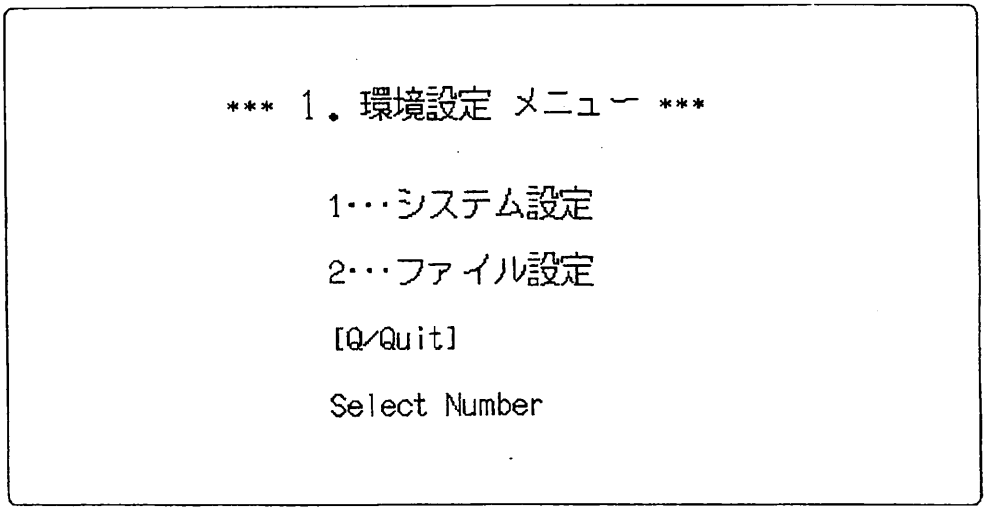


図　2

終了するときは［Ｑ］と押してください。メニューにもどります。

１－２　システム設定
プリンタの改行コードを設定します。対応する数字を入力してください。

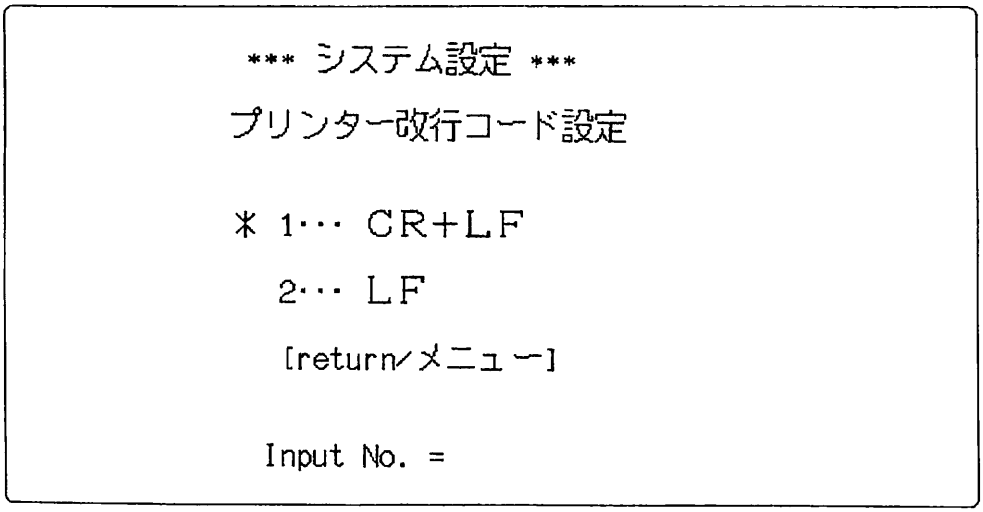


図　3

終了するときは［Ｑ］と押してください。メニューにもどります。

1－3　ファイル設定

データが保管されているドライブを指定してください。

例：　データがＢドライブに保管されている場合

Ｂ：［ＲＥＴＵＲＮ］と入力してください。

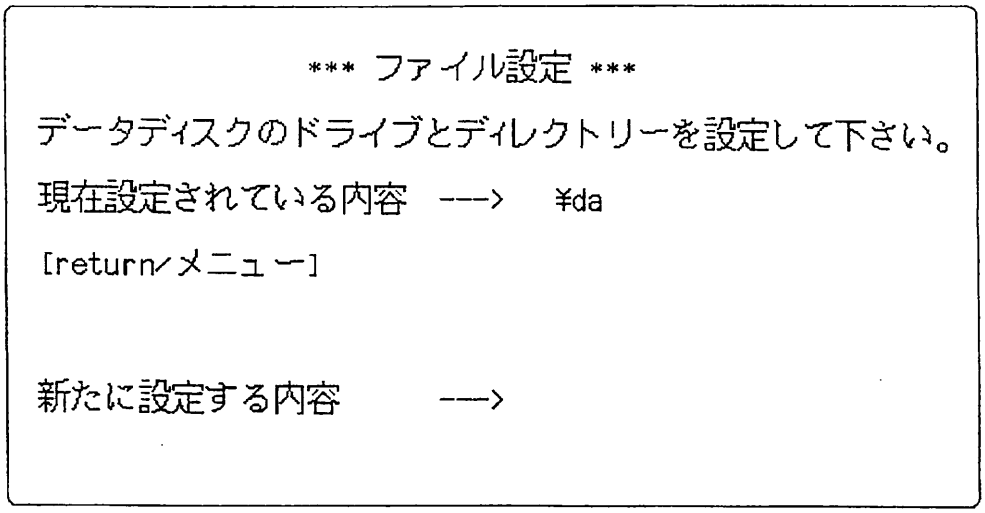


図　4

終了するときは［Ｑ］と押してください。メニューにもどります。

2．　ファイル指定・登録

図１の表示で〔２〕を押すと「Ｉｎｐｕｔ　Ｆｉｌｅ　ｎａｍｅ」が表示されます。ここで患者のファイル名を入力して下さい。（最高８桁）

例：患者のファイル名が「ＤＥＭＯ」の場合

〔Ｄ〕〔Ｅ〕〔Ｍ〕〔Ｏ〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕と押して入力します。

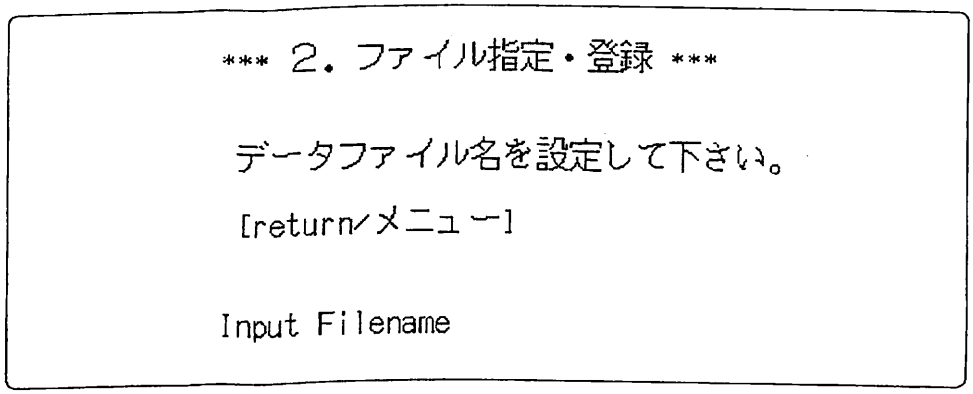


図　5

※ファイル指定・登録でファイル名を入力しないときは、図１の４．データファイルと５．データ処理を選択したときにファイル名の入力を求められます。

環境設定の終了

図２の表示で〔Ｑ〕を押すと、メインメニュー（図１）に戻ります。

3．　ＴＭ２４２５　データ入力、データファイル作成

ＴＭ２４２５で測定されたデータをパソコン上に取り込み、環境設定で指定されたパスにデータファイルを作成します。

＊測定時間モード、患者情報における睡眠時刻はデータ処理に必要ですので必ず入力して下さい。

☆操作手順

３－１　データ入力の起動

メニュー（図１）で〔３〕を押すと、図６のようにプロセッサＴＭ２０２５とパソコンとの接続状態の確認を求められます。

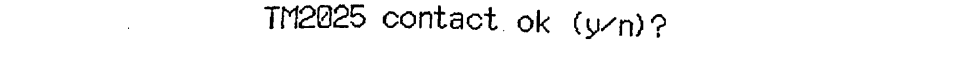


図　6

３－２　接続状態の確認

ＴＭ２０２５とパソコンの接続状態をもう一度確認して、良ければ〔ｙ〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕を押して下さい。〔ｎ〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕を押すとメインメニューに戻ります。

３－３　時間モードの設定

図６の表示で〔ｙ〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕を押すと、図７のように測定時間モードの入力を求められます。このとき２４時間モードと４８時間モードのいずれかのモード〔２〕〔４〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕あるいは〔４〕〔８〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕で入力して下さい。

測定は　２４時間モード／４８時間モードですか

Input mode(24 or 48)?

図　７

３－４　患者情報

図７の表示でモードを入力すると、図８のように患者情報の入力表示となります。それぞれ〔名〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕、〔Ｍ〕あるいは〔Ｆ〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕、〔年齢〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕、〔就寝時刻〕〔起床時刻〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕で入力して下さい。

もう一度確認して、良ければ〔ｙ〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕を押して次に進み、誤りがあれば〔ｎ〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕を押して修正して下さい。

***** Patient information *****

氏 名: ?

性 別:
(M/男　F/女)

年 齢:

就寝時刻(1)～起床時刻(1): 00:00～00:00

図　８

３－５　データセレクトメニュー

図８の表示で入力が終わり〔ｙ〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕を押すと、図９のように取り込むデータの種類を選択する表示となります。

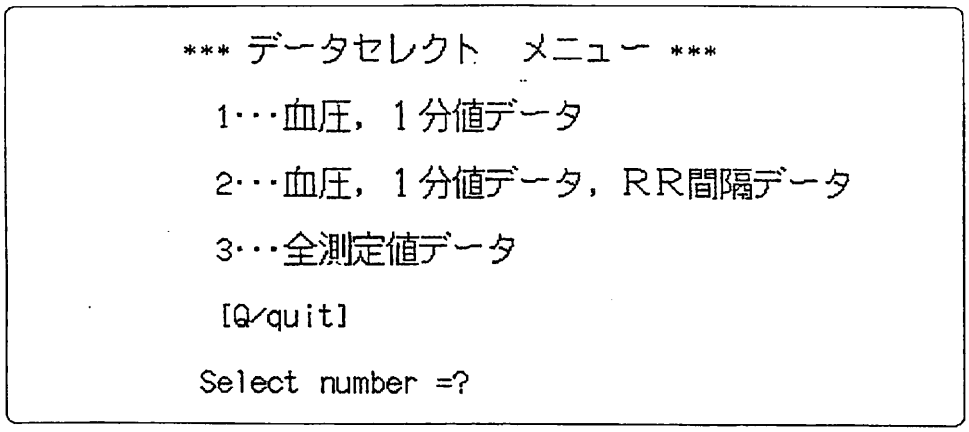


図　９

３－５－１　血圧、１分値データ

血圧及びＥＣＧ＆環境の１分値データを取り込む時は、〔１〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕を押して取り込みを開始します。

３－５－２　血圧、１分値データ、ＲＲ間隔データ

2-5-1 のデータの他にＲＲ間隔データも取り込む時は、〔２〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕を押して取り込みを開始します。

３－５－３　全測定値データ

2-5-2 のデータの他にイベントＥＣＧデータや１２分間ＥＣＧスーパーインポーズデータも取り込む時は、〔３〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕を押して取り込みを開始します。

〔Ｑ〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕を押すと、メインメニュー（図１）に戻ります。

※取り込みができない時は、もう一度プロセッサ（ＴＭ２０２５）とパソコンの接続を確認してやり直して下さい。

4．　データ処理

```
***** 4. データ処理　メニュー *****

1···· 時系列データ表示
2···· イベントＥＣＧ波形表示
3···· データ解析
4···· 報告書作成
[Q/Quit]
Select Number
```

図　１０

記録したデータファイルのデータを処理します。１～４またはＱを入力してください。

４－１　時系列データ表示

メニューで〔１〕を押すと「時系列データ処理メニュー」の表示になります。

```
*** 時系列データ 処理メニュー ***

(1) 時系列データリスト
(2) 時系列データグラフ表示
(3) ヒストグラム
[Q/quit]
Input No.
```

図　１１

4－1－1　時系列データリスト

図１１の表示で〔１〕を押すと、図１２のように血圧データのテーブル表示をします。

血圧データリスト　（オシロメトリック法）

NO.	DATE	TIME	SYS	DIA	PUL	ERR	MESSAGE
			...[mmHg]..		[bpm]		
1	5/3	13:11	127	81	89	—	
2	5/3	13:20	122	71	94	—	
3	5/3	13:30	124	62	83	—	
4	5/3	13:40	119	76	92	—	
5	5/3	13:50	123	77	100	—	
6	5/3	14:00	125	79	97	—	
7	5/3	14:10	147	95	97	—	
8	5/3	14:20	136	81	97	—	
9	5/3	14:30	121	81	100	—	
10	5/3	14:40	120	67	83	—	
11	5/3	14:50	120	70	87	—	
12	5/3	15:00	124	82	100	—	
13	5/3	15:10	123	78	97	—	
14	5/3	15:20	134	87	92	—	
15	5/3	15:30	118	76	100	—	
16	5/3	15:40	118	76	77	—	
17	5/3	15:50	124	76	79	—	
18	5/3	16:00	132	85	89	—	
19	5/3	16:10	116	74	77	—	
20	5/3	16:20	123	79	85	—	

HOME:ｵｼﾛﾒﾄﾘｯｸｰｺﾛﾄｺﾌ切り替え
←→：画面切り替え　↑↓：スクロール　space：番号指定　Ｅｓｃ：メニュー

図　１２

〔ＤＡＴＥ：測定日　ＴＩＭＥ：測定時間　ＳＹＳ：収縮期血圧　ＤＩＡ：拡張期血圧
ＰＵＬ：脈拍数　ＥＲＲ：エラーコード　ＭＥＳＳＡＧＥ：補完の有無〕

○判定法の切り替え

〔ＨＯＭＥ〕を押すと、オシロメトリック法とコロトコフ音法のデータの切り替えをします。（図１３）

血圧データリスト　（　コロトコフ音法　）

NO.	DATE	TIME	SYS	DIA	PUL	ERR	MESSAGE
			...[mmHg]..		[bpm]		
1	5/3	13:11	129	67	87	--	
2	5/3	13:20	117	71	91	--	
3	5/3	13:30	118	72	81	--	
4	5/3	13:40	116	69	90	--	
5	5/3	13:50	113	68	95	--	
6	5/3	14:00	122	73	95	--	
7	5/3	14:10	146	91	95	--	
8	5/3	14:20	127	70	94	--	
9	5/3	14:30	130	75	96	--	
10	5/3	14:40	123	64	81	--	
11	5/3	14:50	121	69	85	--	
12	5/3	15:00	127	74	97	--	
13	5/3	15:10	128	68	94	--	
14	5/3	15:20	140	71	87	--	
15	5/3	15:30	141	65	98	--	
16	5/3	15:40	120	75	76	--	
17	5/3	15:50	123	74	76	--	
18	5/3	16:00	113	76	84	--	
19	5/3	16:10	122	74	75	--	
20	5/3	16:20	115	74	84	--	

HOME:ｵｼﾛﾒﾄﾘｯｸｰｺﾛﾄｺﾌ切り替え

←→：画面切り替え　↑↓：スクロール　space：番号指定　Ｅｓｃ：メニュー

図　１３

○画面切り替え

〔←〕〔→〕を押すと、血圧データリストとＥＣＧ＆環境データリストの切り替えをします。（図１４）

ＥＣＧ＆環境データリスト

NO.	DATE	TIME	H.R. [bpm]	ACT [G]	POSI	TEMP [℃]	VPC [回]	ST [μV]	RR50 [回]
1	5/3	13:12	94	0.01	1	28.9	0	20.4	2
2	5/3	13:13	90	0.01	1	29.2	0	66.8	0
3	5/3	13:14	99	0.10	1	28.4	0	62.7	1
4	5/3	13:15	99	0.03	1	28.7	0	65.2	2
5	5/3	13:16	100	0.03	1	28.7	0	69.6	5
6	5/3	13:17	103	0.01	1	29.2	0	58.7	0
7	5/3	13:18	97	0.02	0	28.7	0	56.5	0
8	5/3	13:19	97	0.01	0	28.6	0	51.3	2
9	5/3	13:20	95	0.00	0	28.6	0	69.9	4
10	5/3	13:21	92	0.00	0	28.4	0	65.1	0
11	5/3	13:22	94	0.01	0	28.4	0	60.8	0
12	5/3	13:23	92	0.01	0	28.3	0	67.0	1
13	5/3	13:24	91	0.01	0	28.4	0	69.5	0
14	5/3	13:25	95	0.01	0	28.4	0	64.1	1
15	5/3	13:26	92	0.00	0	28.4	0	66.0	3
16	5/3	13:27	90	0.00	0	28.4	0	67.7	2
17	5/3	13:28	92	0.01	0	28.4	0	71.1	2
18	5/3	13:29	92	0.01	0	28.6	0	76.9	5
19	5/3	13:30	90	0.00	0	28.9	0	62.1	7
20	5/3	13:31	86	0.01	0	28.9	0	64.7	18

←→：画面切り替え　↑↓：スクロール　space：番号指定　Ｅｓｃ：メニュー

図　１４

〔ＤＡＴＥ：測定日　ＴＩＭＥ：測定時間　Ｈ．Ｒ．：心拍数　ＡＣＴ：加速度
ＰＯＳＩ：体位（０：座位、１：立位）　ＴＥＭＰ：気温　ＳＴ：ＳＴレベル
ＶＰＣ：不整脈・ＲＲ間隔法　ＲＲ５０：不整脈・ＲＲ間隔法〕

○スクロール

〔↑〕〔↓〕を押すと、データリストがスクロールします。

○番号指定

〔Ｓｐａｃｅバー〕を押すと図１５のようになり、任意のデータ番号を〔数〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕で入力することによりその番号からのデータをリスト表示します。

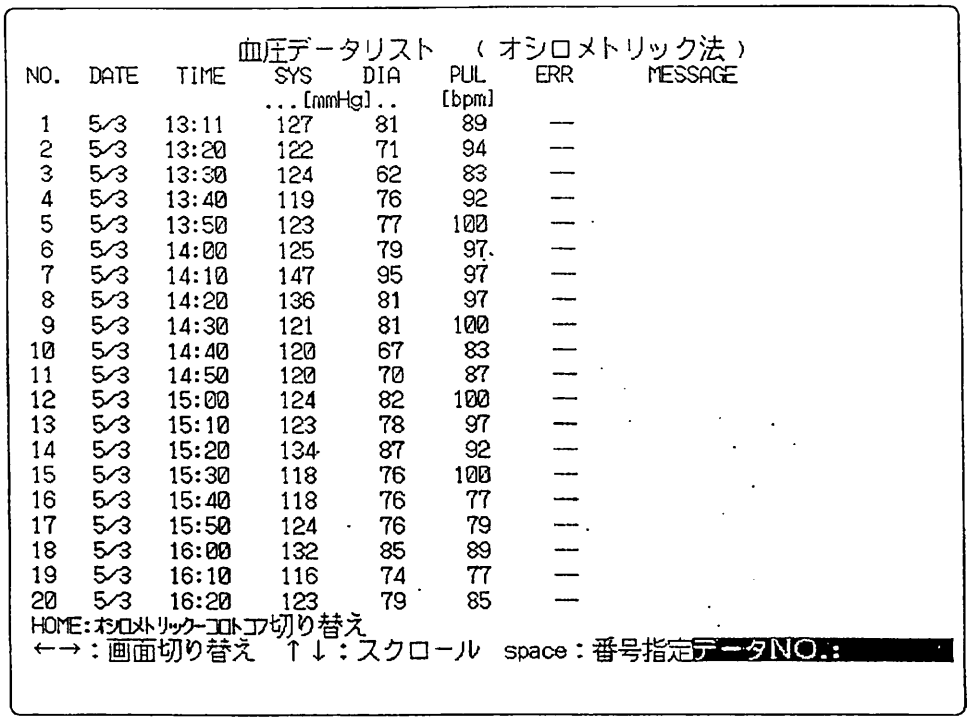


図 １５

○テーブル表示の終了
〔ＥＳＣ〕を押すとテーブル表示が終了し、メニュー画面（図１１）に戻ります。

※血圧データリストの「ＭＥＳＳＡＧＥ」にあるアスタリスク「＊」は、オシロメトリック法及びコロトコフ音法の互いのデータで補完してあることを意味しています。

４－１－２ グラフ表示メニュー
図１１の表示で〔２〕を押すと、図１６のように「グラフ表示メニュー」となります。

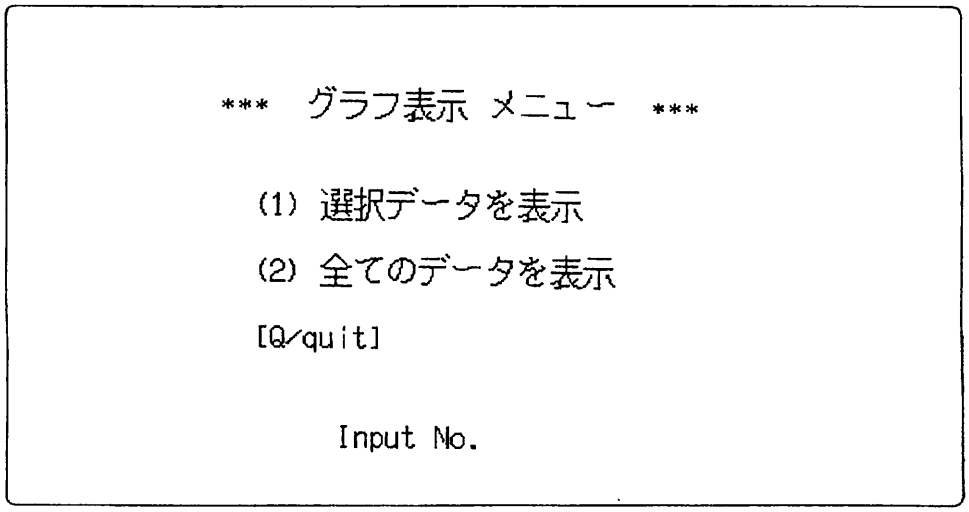


図 １６

4－1－2－1　選択グラフメニュー

図１６の表示で〔１〕を押すと、図１７のように「選択グラフメニュー」となります。

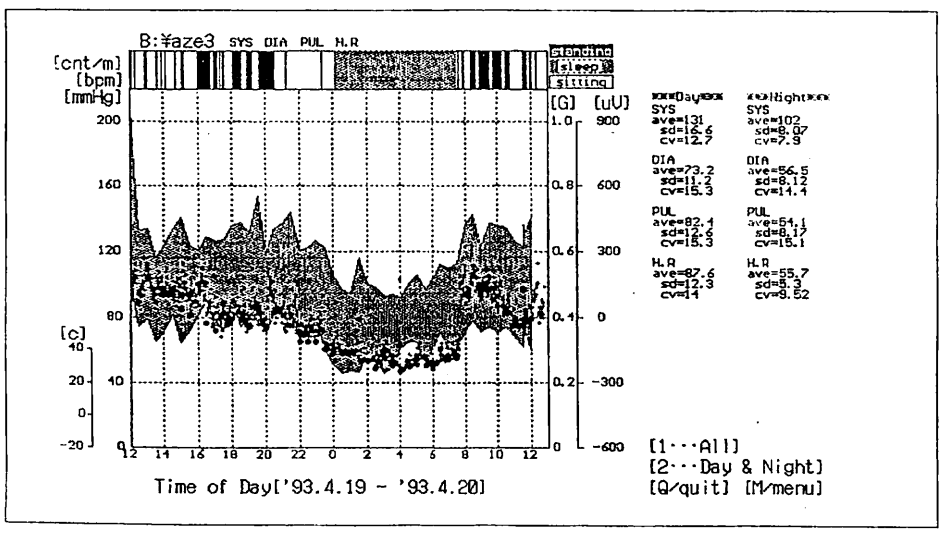
```
*** 選択グラフメニュー ***

 1 ･･･ 収縮期血圧(SYS)
 2 ･･･ 拡張期血圧(DIA)
 3 ･･･ 脈拍(PUL)
 4 ･･･ 心拍(H.R)
 5 ･･･ 加速度(ACT)
 6 ･･･ 気温(TEMP)
 7 ･･･ STレベル(ST)
 8 ･･･ 不整脈・RR間隔法(RR50)
 9 ･･･ 不整脈・RR間隔法(VPC)
  [D/display]
  [Q/Quit]

Select number=
```

図　１７

ここで必要とする項目について数字で〔項目Ｎｏ〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕と押して選択し（複数の選択が可能）、決定したら〔ｄ〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕を押して実行します。（図１８）



選択メニューの１～４を選択した場合　　図　１８－１

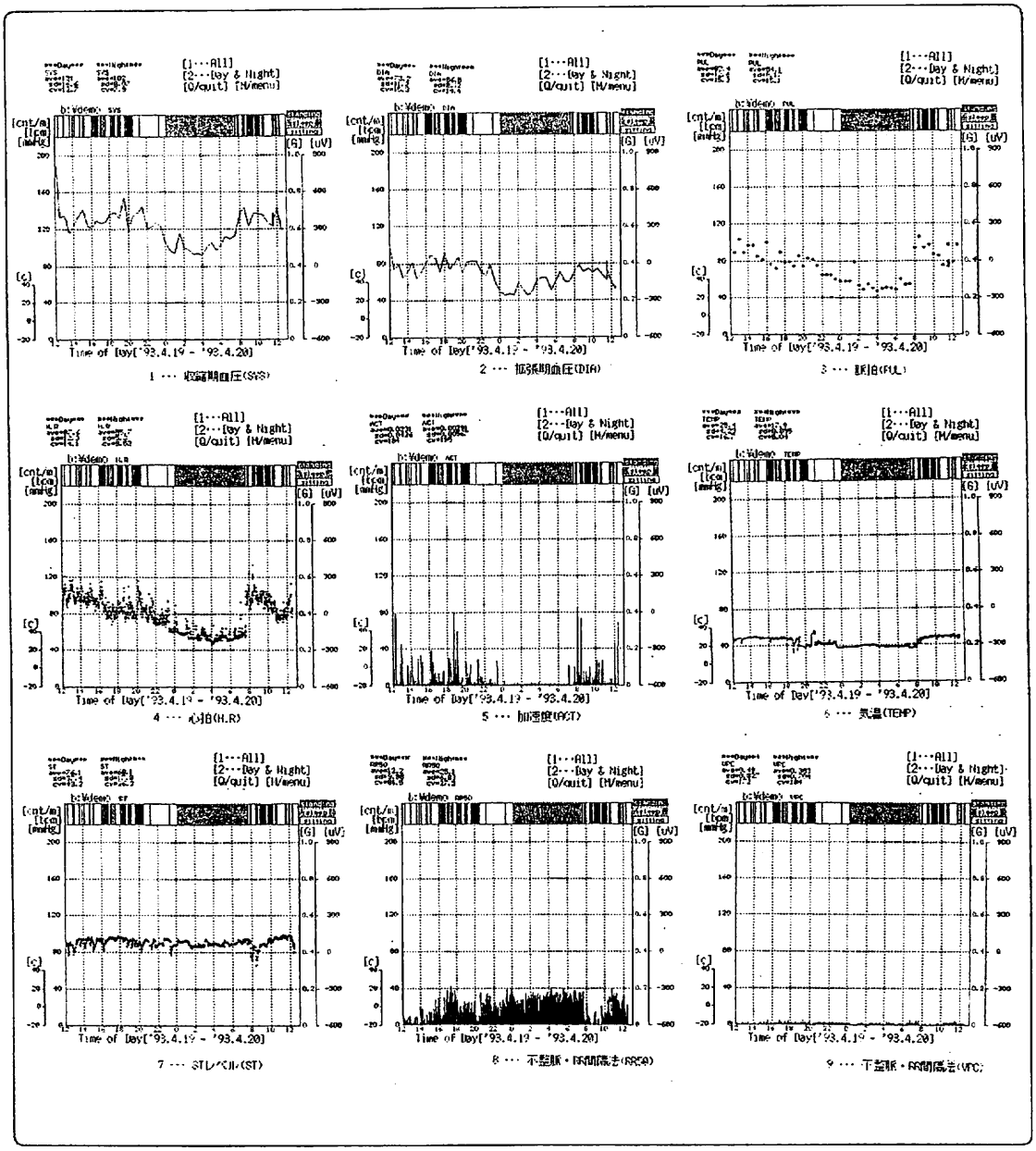


図　１８－２

選択グラフメニューの１～９の表示例一覧

〔ａｖｅ：血圧平均値　ｓｄ：標準偏差　ｃｖ：標準誤差率
〔１‥‥Ａｌｌ〕：１日に対するａｖｅ、ｓｄ、ｃｖ
〔２‥‥Ｄａｙ　＆　Ｎｉｇｈｔ〕：昼夜それぞれに対するａｖｅ、ｓｄ、ｃｖ〕
Ｎｉｇｈｔ：患者情報で入力された睡眠時刻です。

◎他のデータの選択表示

図１８の表示で〔Ｍ〕を押すと図１７の「選択グラフメニュー」に戻り、他のデータについて選択表示することができます。

◎選択データ表示の終了

図１８の表示で〔Ｑ〕を押すと、図１６の「グラフ表示メニュー」に戻ります。

○選択グラフメニューの終了

図１７の表示で〔Ｑ〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕を押すと、選択グラフメニューは終了し図１６の「グラフ表示メニュー」に戻ります。

４－１－２－２　全てのデータを表示

図１６の表示で〔２〕を押すと、図１９のように全てのデータについてグラフ表示します。

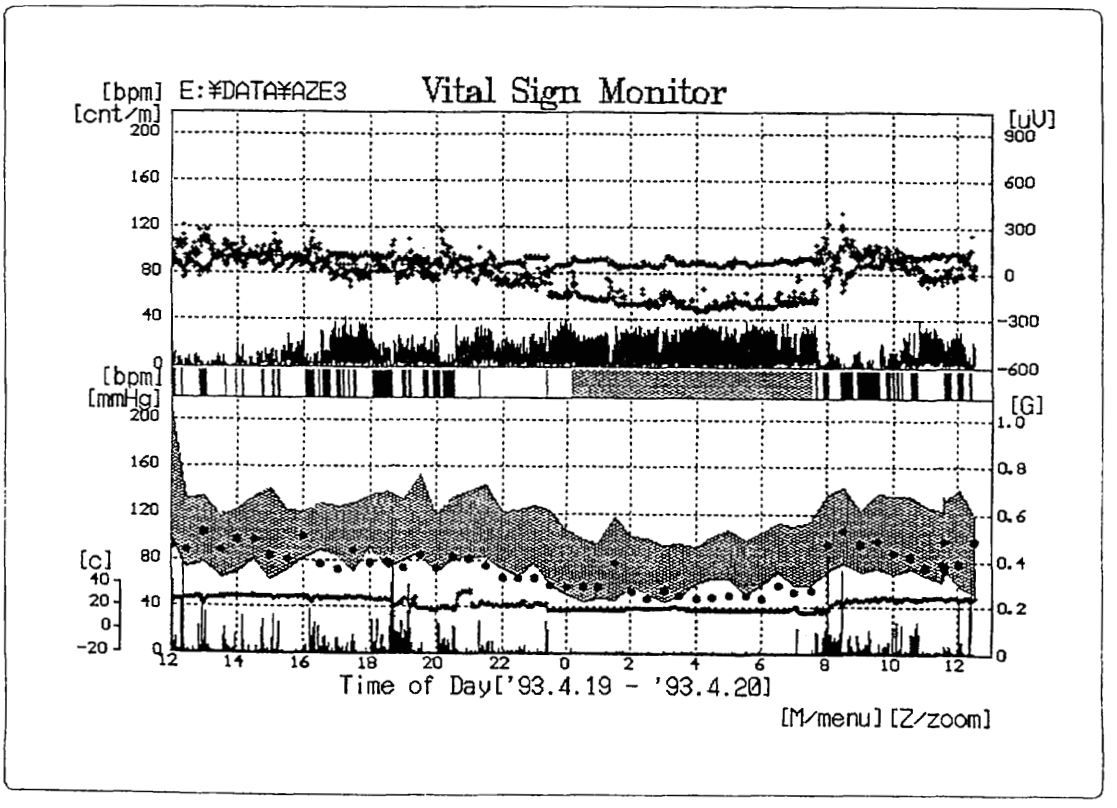


図　１９

○特定部分の拡大表示（ズーム）

図１９の表示で〔Ｚ〕を押すと図２０のような表示になり、赤いカーソルが加わります。

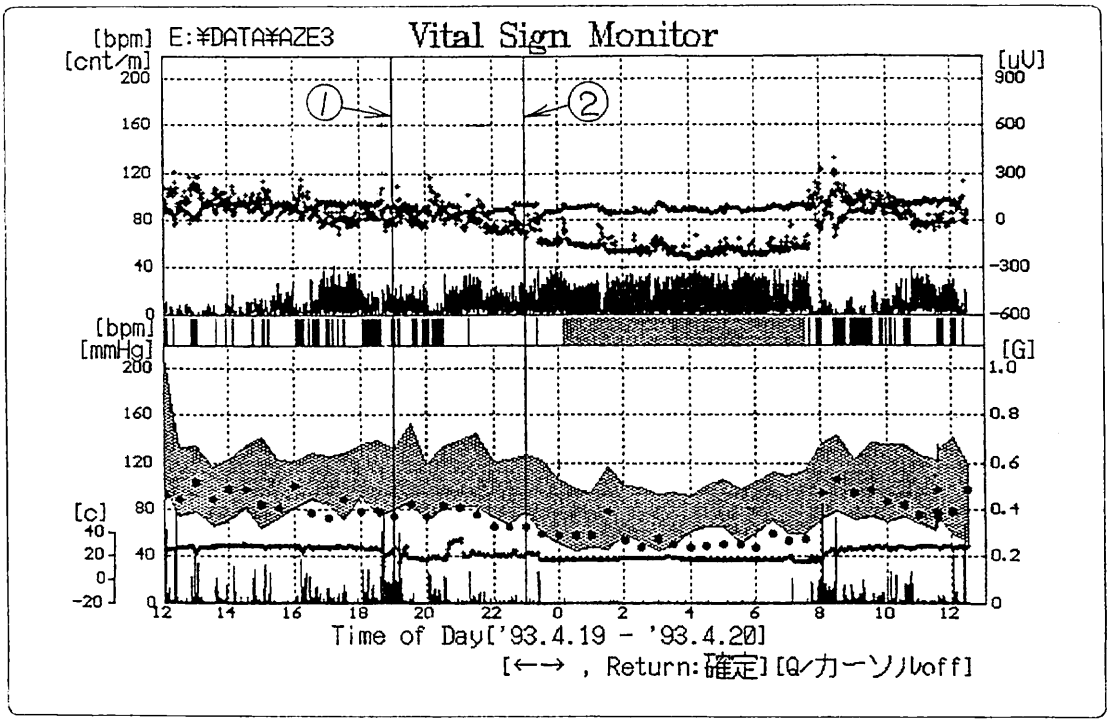


図　２０

〔←〕〔→〕を押してカーソルの位置を移動させ、〔ＲＥＴＵＲＮ〕を押して図２０中の①のカーソル位置を決定します。次に〔←〕〔→〕を押して②のカーソルを移動させ、〔ＲＥＴＵＲＮ〕を押すと①－②の範囲について拡大表示します。（図２１）

〔Ｑ〕を押すとカーソルは消え、図１９の表示に戻ります。

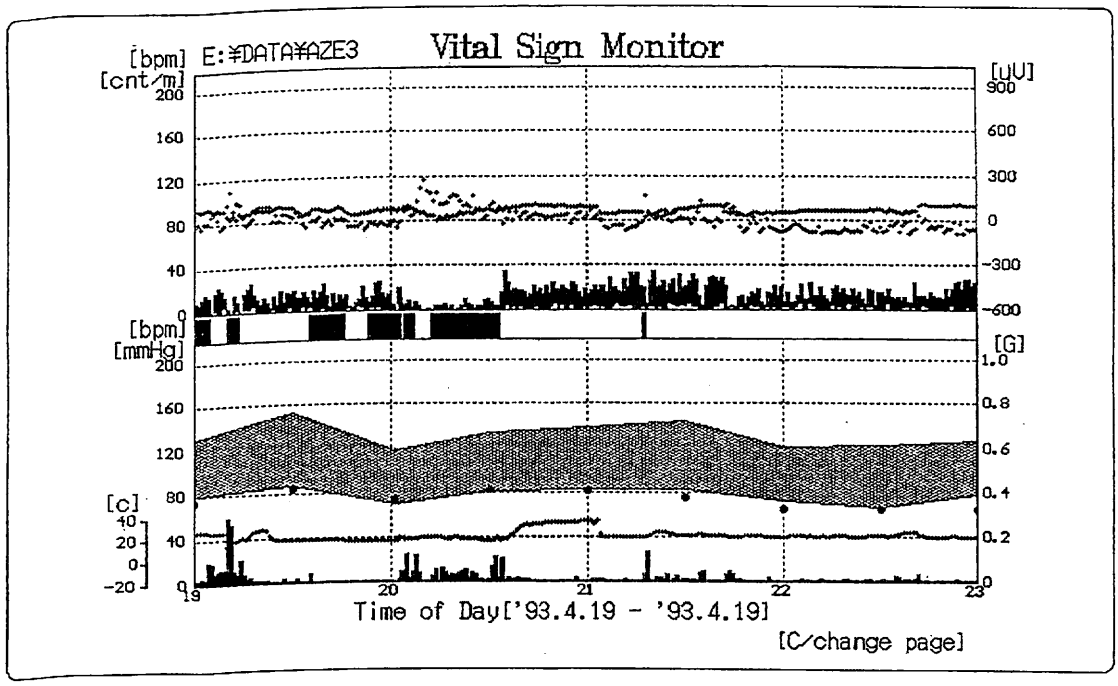


図　２１

図２１の表示で〔Ｃ〕を押すと図２２の表示に切り替わり、拡大部分の設定のやり直しができます。

なお図２２の表示で〔Ｃ〕を押すと先に表示した拡大グラフ（図２１）に切り替わります。

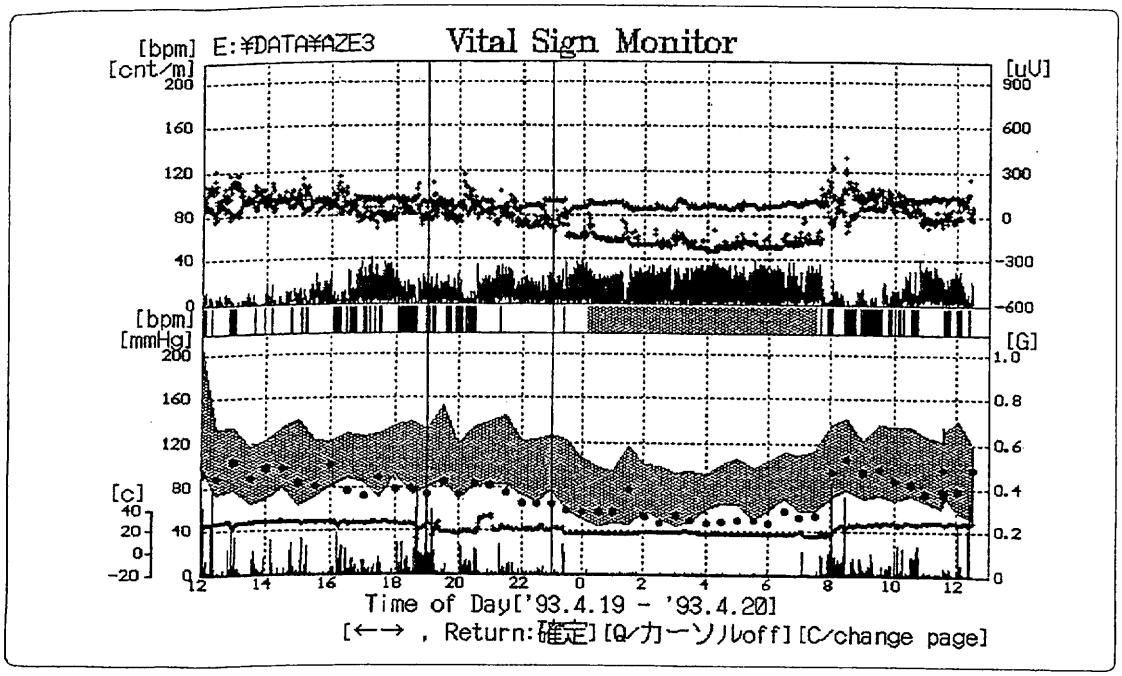


図　２２

○全データグラフ表示の終了

図１９の表示で〔Ｍ〕を押すと、全データグラフ表示は終了し図１６の「グラフ表示メニュー」に戻ります。

４－１－２－３　グラフ表示の終了

図１６の表示で〔Ｑ〕を押すと、「グラフ表示メニュー」が終了しメニュー画面（図１１）に戻ります。

4－1－3　ヒストグラム

図１１の表示で〔３〕を押すと、図２３の「選択メニュー」となります。

```
*** 選択メニュー ***

 1 ･･･ 収縮期血圧(SYS)
 2 ･･･ 拡張期血圧(DIA)
 3 ･･･ 脈拍(PUL)
 4 ･･･ 心拍(H.R)
 5 ･･･ 加速度(ACT)
 6 ･･･ 気温(TEMP)
 7 ･･･ STレベル(ST)
 8 ･･･ 不整脈・RR間隔法(RR50)
 9 ･･･ 不整脈・RR間隔法(VPC)
10 ･･･ 体位(Positon)
  [D/display]
  [Q/Quit]

Select number=
```

図　２３

ここで必要とする項目について数字で〔項目Ｎｏ〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕と押して選択し（複数の入力が可能）、決定したら〔ｄ〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕を押して実行します。（図２４）

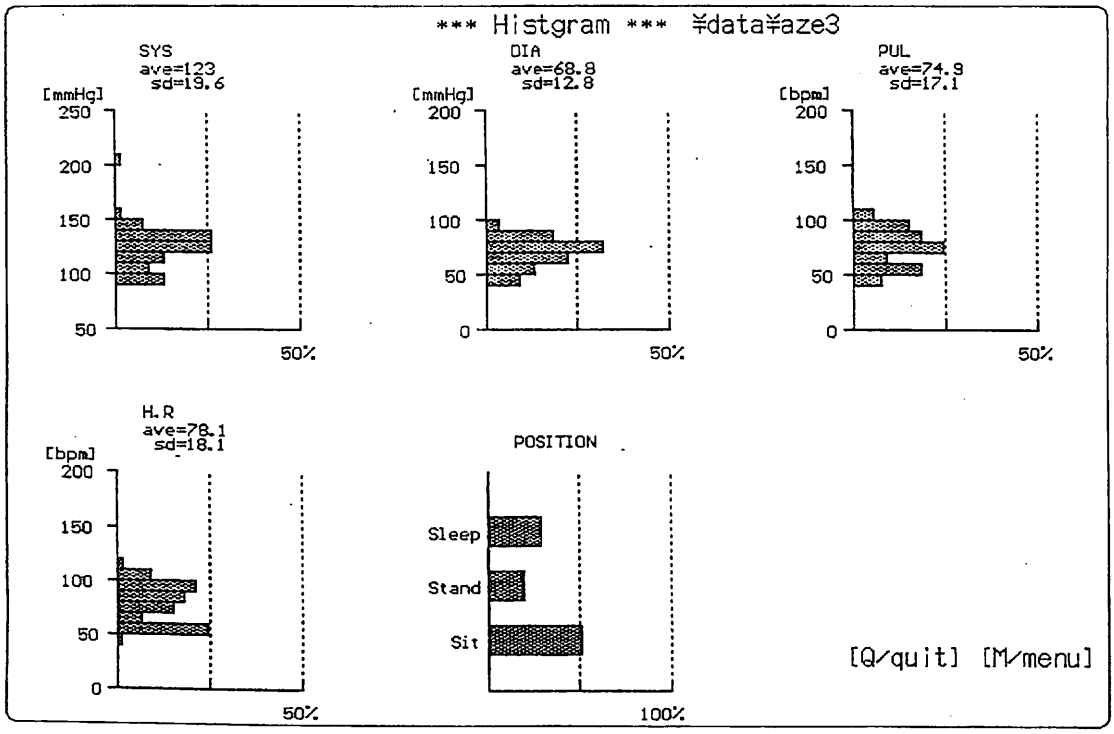


図　２４

◎他のデータの選択表示

図２４の表示で〔Ｍ〕を押すと図２３の「選択メニュー」に戻り、他のデータについて選択表示することができます。

◎ヒストグラム表示の終了

図２４の表示で〔Ｑ〕を押すと、ヒストグラム表示が終了しメニュー画面（図１１）に戻ります。

○選択メニューの終了

図２３の表示で〔Ｑ〕〔ＲＥＴＵＲＮ〕を押すと、「選択メニュー」が終了しメニュー画面（図１１）に戻ります。

４－１－４　データ表示の終了

図１１の表示で〔Ｑ〕を押すと、データ処理メニュー（図１０）に戻ります。

４－２　イベントＥＣＧ波形表示

パソコン上に取り込まれたイベント入力ＥＣＧデータの波形表示をします。

☆操作手順

４－２－１　イベントＥＣＧ波形表示の起動

データ処理メニュー（図１０）で〔２〕を押すと、図２５のようにイベントデータの選択となります。２４時間測定モードでは最大４回、４８時間測定モードでは最大１回のイベント入力されたＥＣＧデータが存在します。イベント入力時のエピソードを選択して下さい。

Select Event Number(1 - 4)

図２５

〔Ｑ〕を押すとデータ処理メニューに戻ります。

４－２－２　心電波形の表示（２４時間測定モード）

図２５の表示で１～４の任意のデータ番号を選択して〔イベントＮｏ〕を押すと、図２６のような心電波形が表示されます。

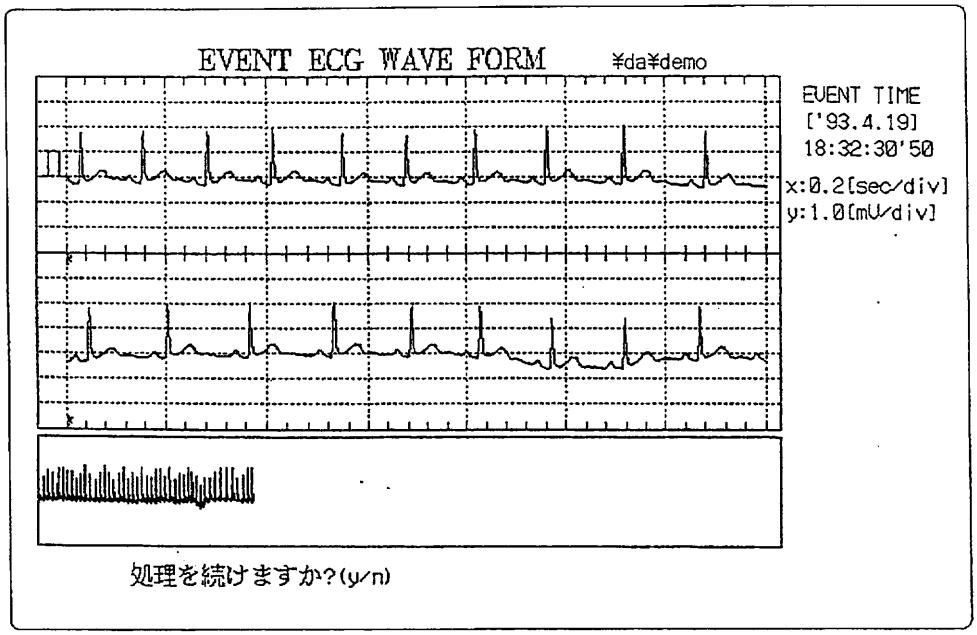


図　２６

○イベント心電波形表示の一時中断

図２６の表示で〔Ａｎｙｋｅｙ〕（任意のｋｅｙ）を押すと、処理が一時中断し図２７のような表示になります。

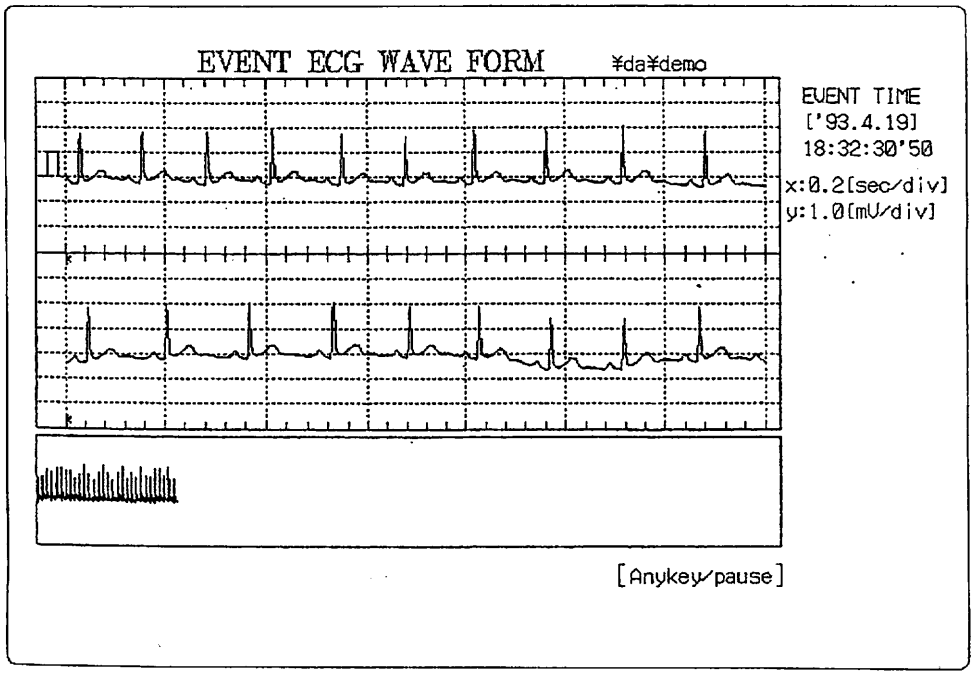


図　２７

◎イベント心電波形表示の継続及び終了

図２７の表示で〔Ｙ〕を押すと処理は再び継続され、〔Ｎ〕を押すと途中終了しデータ処理メニューに戻ります。

○心電波形の全表示（２４時間測定モード）

処理が最後までされると図２８のような表示になります。

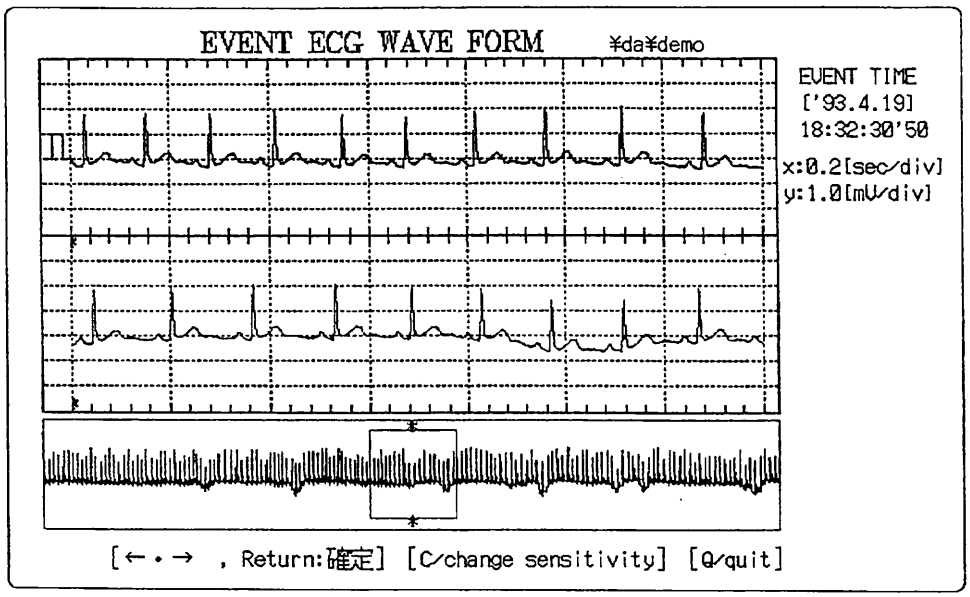


図　２８

※画面下部にイベント入力された心電図の圧縮波形、上部にカーソル中の心電図の通常表示をします。

イベントＳＷが押された日時とそのポイントが圧縮心電図中の”＊”で指示されます。

○心電波形の拡大

図２８の表示で〔←〕〔→〕を押してカーソルの位置を変え、任意の時間における心電波形を拡大して見ることができます。

※カーソルは〔４〕〔６〕で飛び飛びに大きく移動し、〔１〕〔３〕で微小移動します。

○心電波形の振幅倍率の変更

図２８の表示で〔Ｃ〕を押すと、図２９のように波形の右側に「Sensitivity」の項目が表示されます。

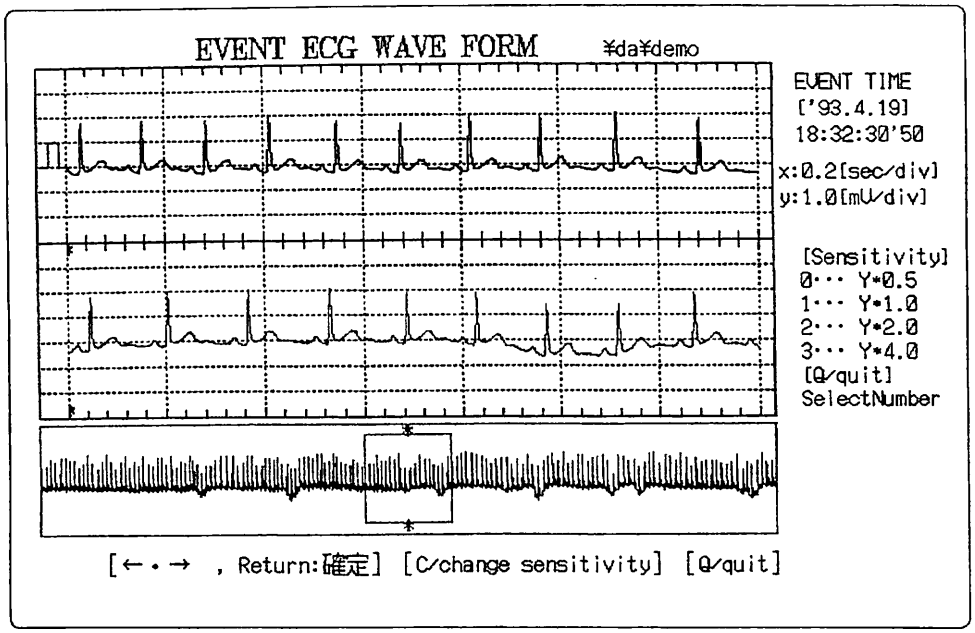


図　２９

０～３の数値で〔項目Ｎｏ〕を押して選択すると、拡大波形の振幅が変化して表示されます。（図３０〔２････Ｙ＊２．０の場合〕）

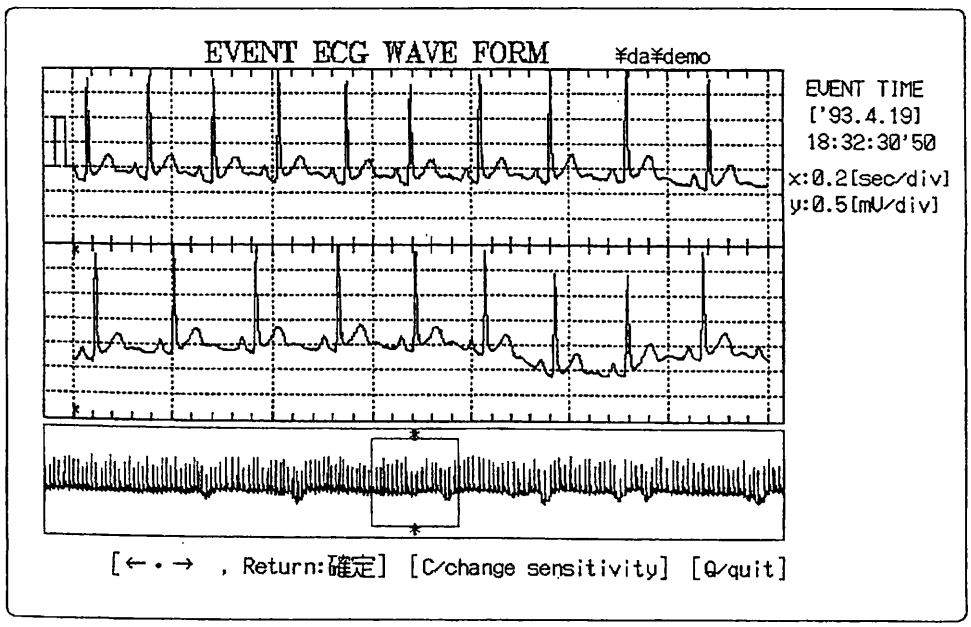


図　３０

○イベントＥＣＧ波形表示の終了
　波形表示中に〔Ｑ〕を押すと、波形表示を終了しデータ処理メニュー（図１０）に戻ります。

４－２－３　心電波形の表示（４８時間モード）
　図２５の表示で〔１〕を押すと、図３１のような心電波形が表示されます。

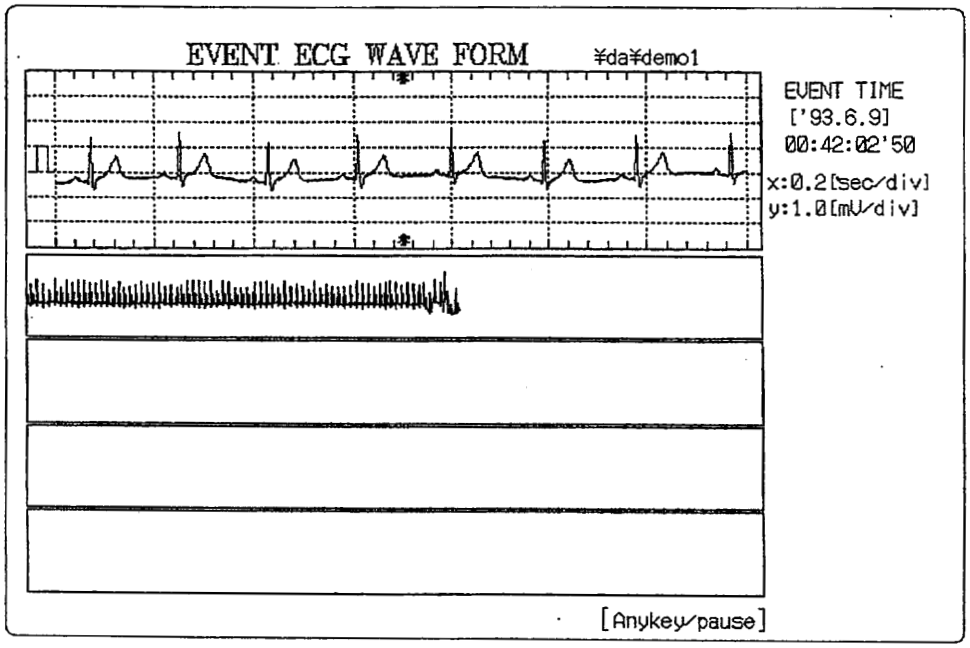


図　３１

　処理が最後までされると図３２のようになり、諸操作については２４時間測定モードと全く同じです。

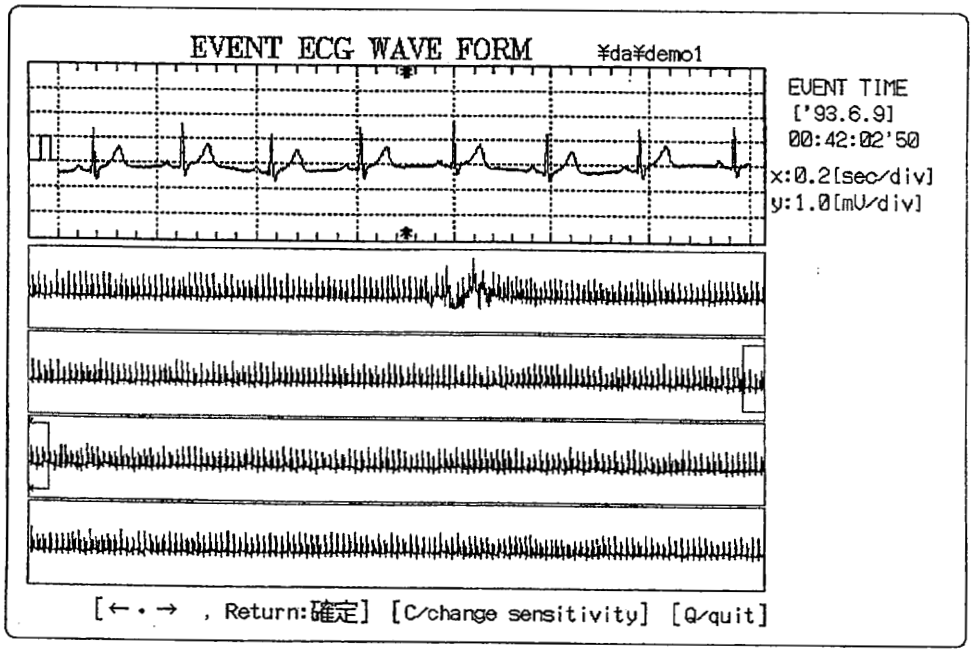


図　３２

４－３　データ解析

パソコン上に取り込まれたＥＣＧデータの解析をします。

☆操作手順

４－３－１　ＥＣＧデータ解析の起動

メニュー（図１０）で〔３〕を押すと、図３３のようにＥＣＧデータ解析メニューとなります。

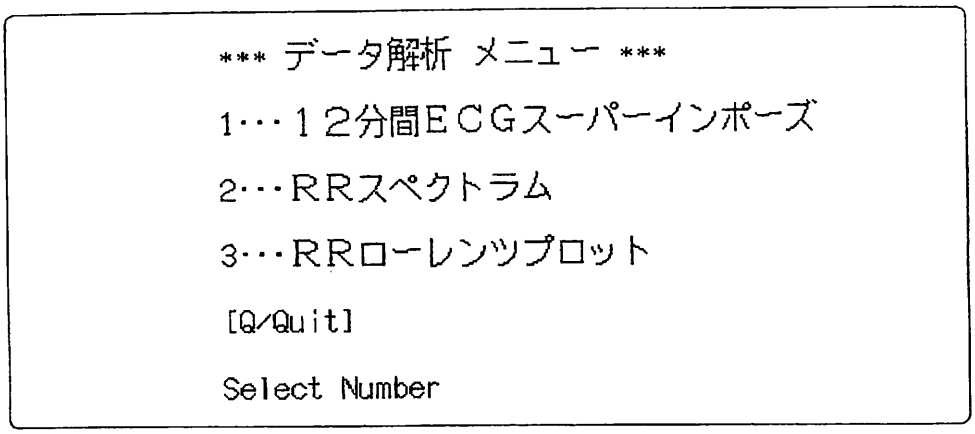


図　３３

ＥＣＧデータ解析の終了

図３３の表示で〔Ｑ〕を押すと、データ処理メニュー（図１０）に戻ります。

４－３－１－１　１２分間ＥＣＧスーパーインポーズ

図３３の表示で〔１〕を押すと、図３４のように１時間ごとに自動測定された心電図波形（２４時間測定モードでは３０秒間４８時間モードでは１５秒間）を重量表示します。

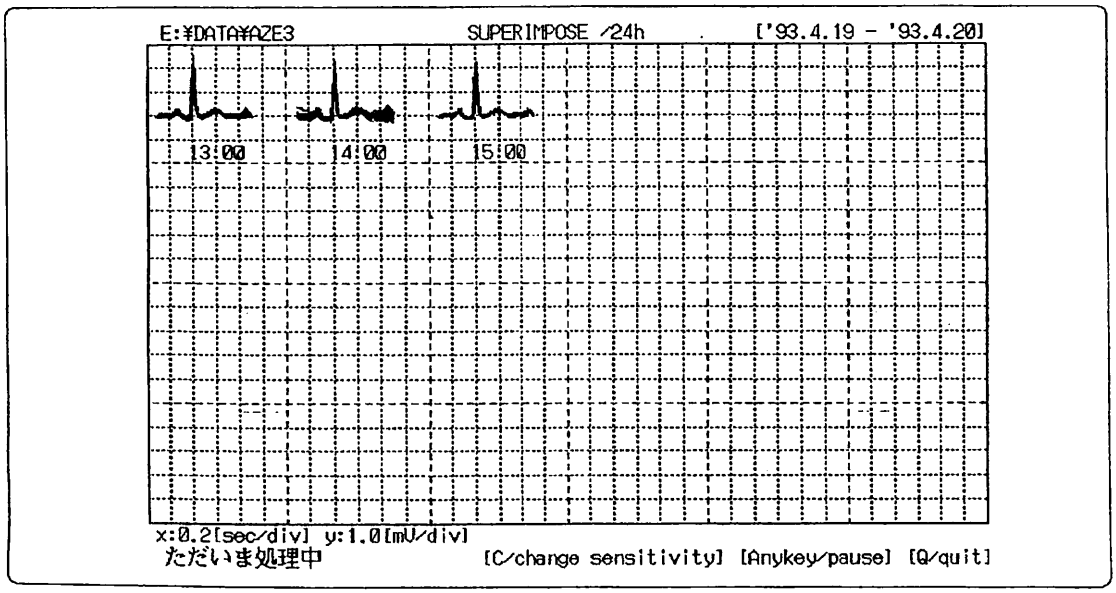


図　３４

○心電波形の振幅倍率の変更
　図３４の表示で〔Ｃ〕を押すと、図３５のように図の中央に「Sensitivity」 の項目が表示されます。

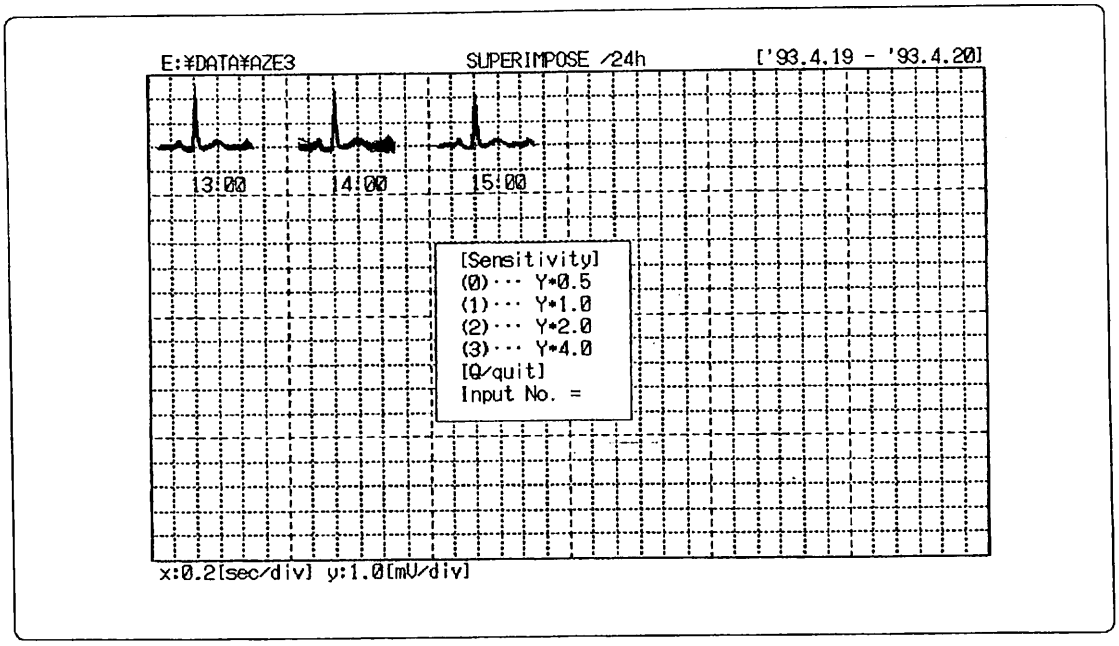


図　３５

０～３の数で〔項目Ｎｏ〕を選択すると、心電図波形の振幅が変わります。

○スーパーインポーズ処理の一時中断
　図３５の表示で〔Ａｎｙｋｅｙ〕（Ａｎｙｋｅｙ：「Ｃ」や「Ｑ」など意味を持つＫｅｙ以外のＫｅｙ）を押すと、処理が一時中断し図３６のような表示になります。

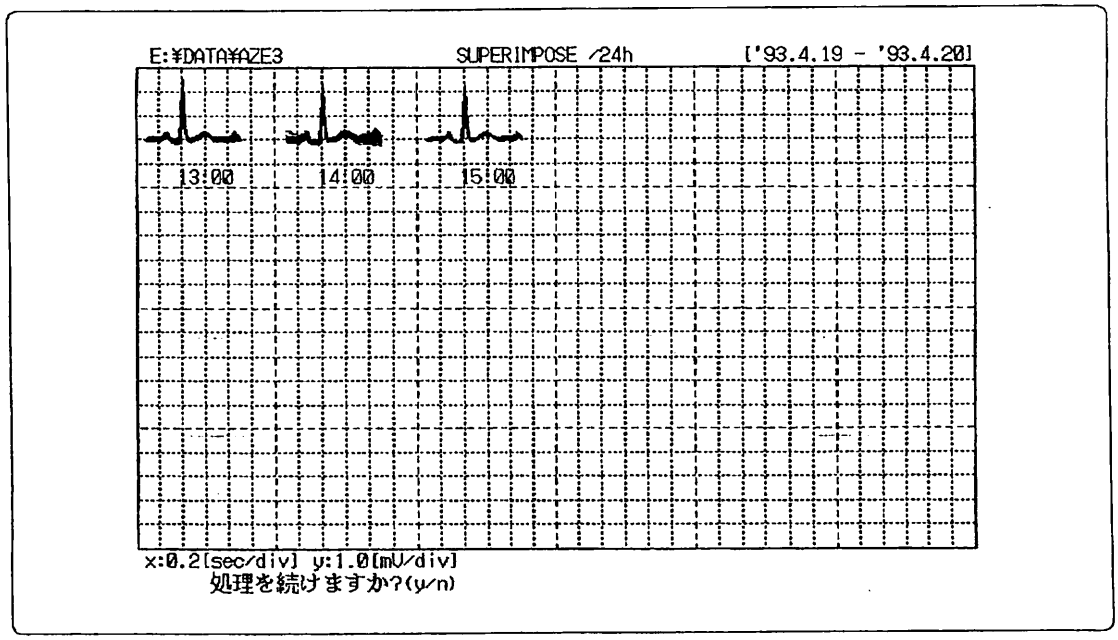


図　３６

◎スーパーインポーズ処理の継続及び終了
図３６の表示で〔Ｙ〕を押すと処理は再び継続され、〔Ｎ〕を押すと途中終了し図３７のような表示になります。

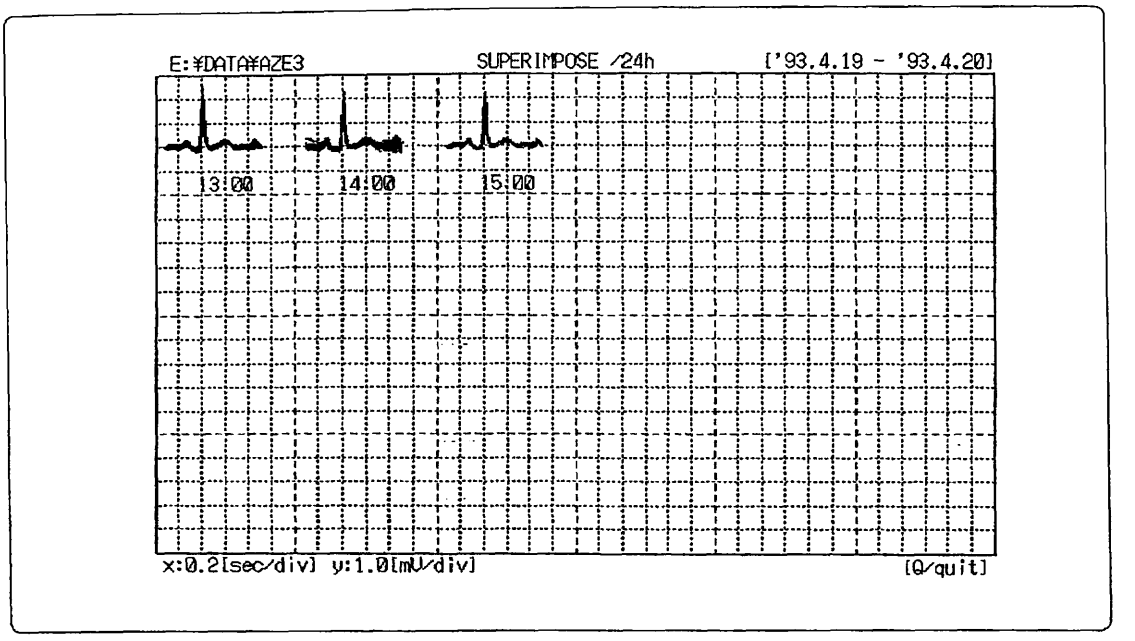


図　３７

◎１２分間ＥＣＧスーパーインポーズの終了
図３７の表示で〔Ｑ〕を押すと、図３３の「データ解析メニュー」に戻ります。

○スーパーインポーズの全表示
処理が最後までされると図３８のような表示になります。

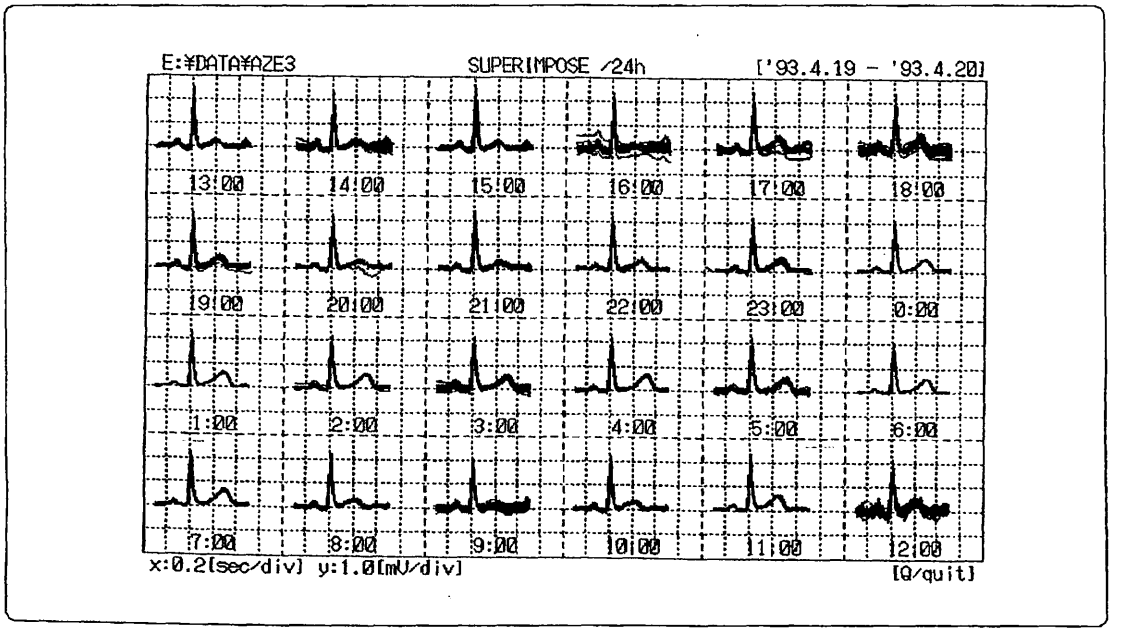


図　３８

◎１２分間ＥＣＧスーパーインポーズの終了
　図３８の表示で〔Ｑ〕を押すと、図３３の「データ解析メニュー」に戻ります。

○４８時間モードにおけるスーパーインポーズ表示
　データが４８時間モードの時、全ての処理が終了すると図３９のようになります。
なお図上の②は「２日目」を意味しています。

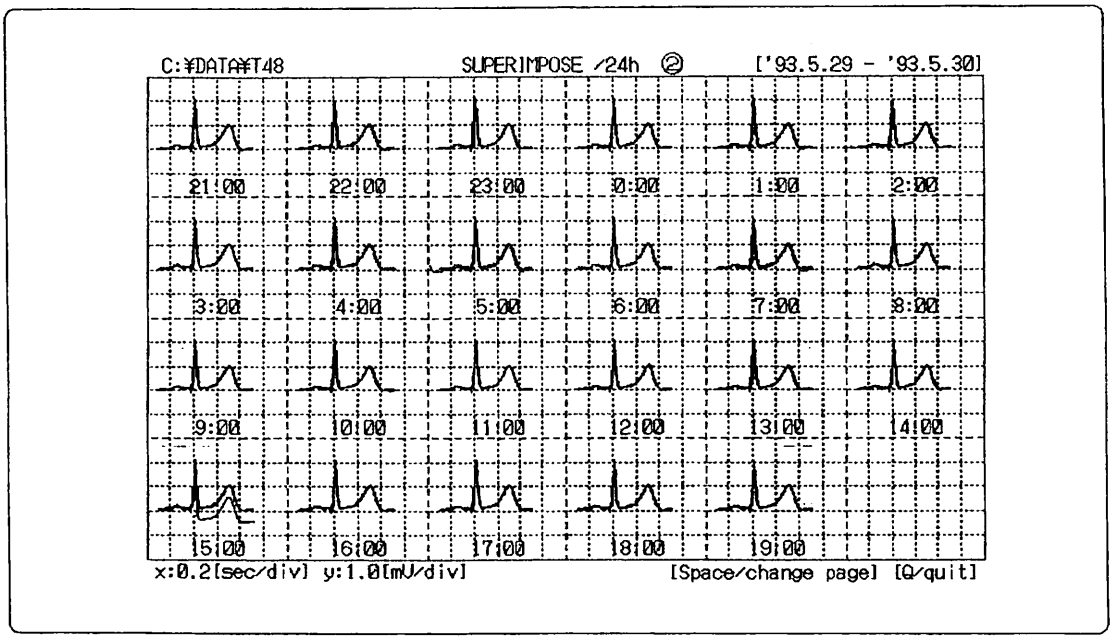


図　３９

◎１日目と２日目の切り替え表示
　図３９の表示で〔Ｓｐａｃｅバー〕を押すと、図４０のように「１日目」の表示に切り替わります。

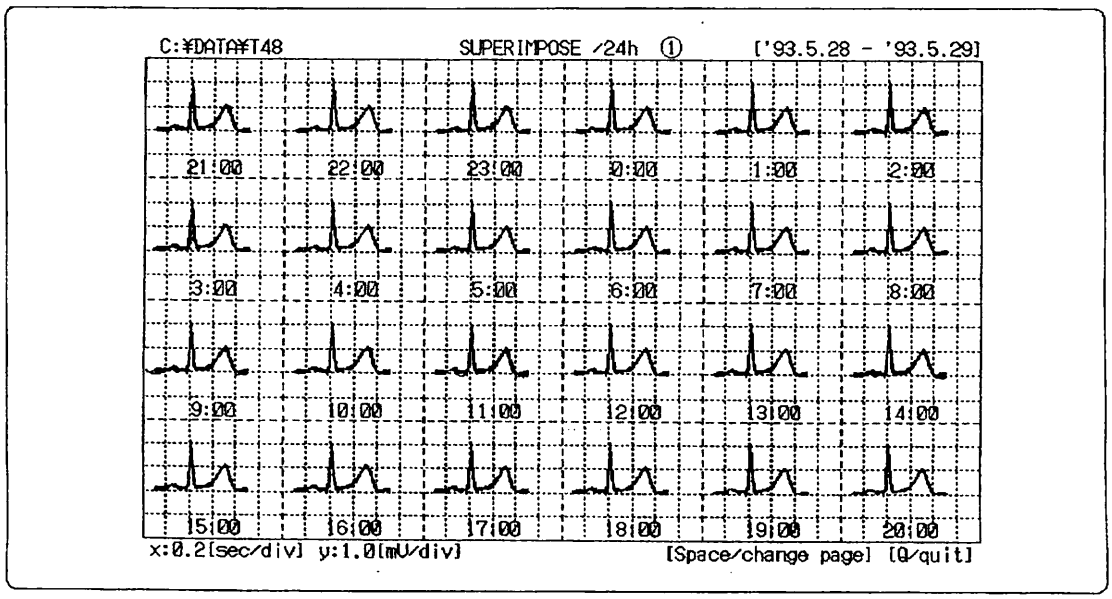


図　４０

○スーパーインポーズ処理の終了

図３４の表示で〔Ｑ〕を押すと、処理は終了し図３７のような表示になります。

４－３－１－２　ＲＲスペクトラム

３０分毎に自動測定によって得られた５１２点のＲＲ間隔についてＲＲ間隔のスペクトラムをトレンド表示します。

図３３の表示で〔２〕を押すと、図４１のようにＲ－Ｒ間隔より得られたデータのパワースペクトルを表示します。

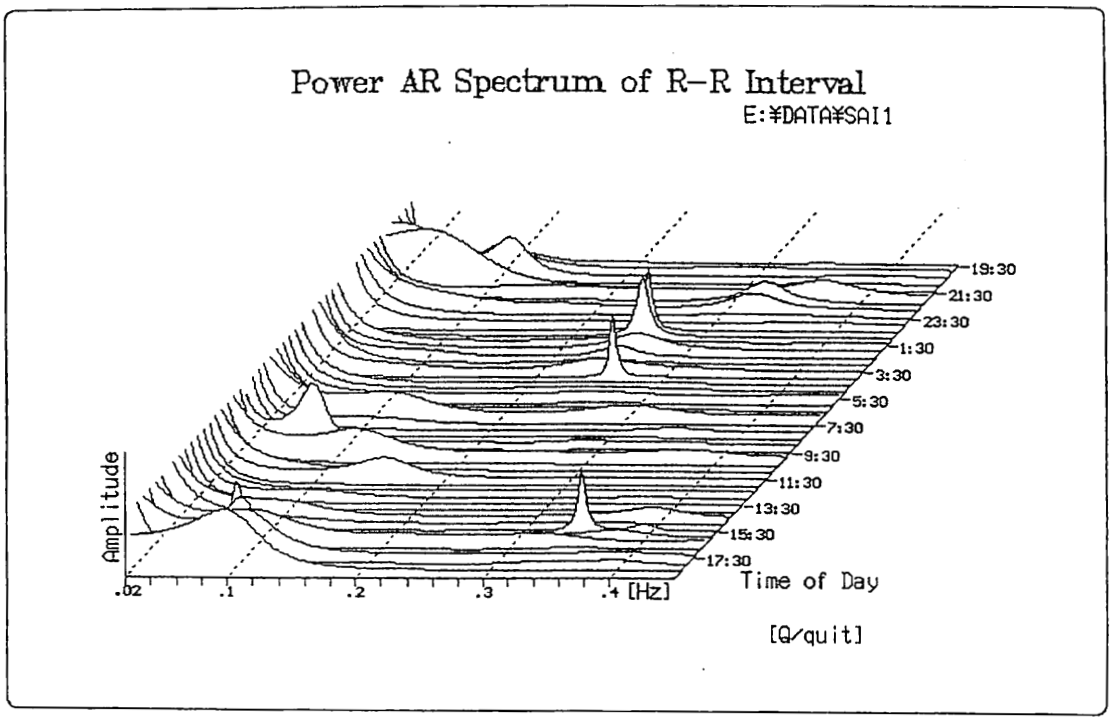


図　４１

○ＲＲスペクトラムの終了

図４１の表示で〔Ｑ〕を押すと、図３３の「データ解析メニュー」に戻ります。

４－３－１－３　ＲＲローレンツプロット

図３３の表示で〔３〕を押すと、図４２のようにＲ－Ｒ間隔データのローレンツプロット表示をします。

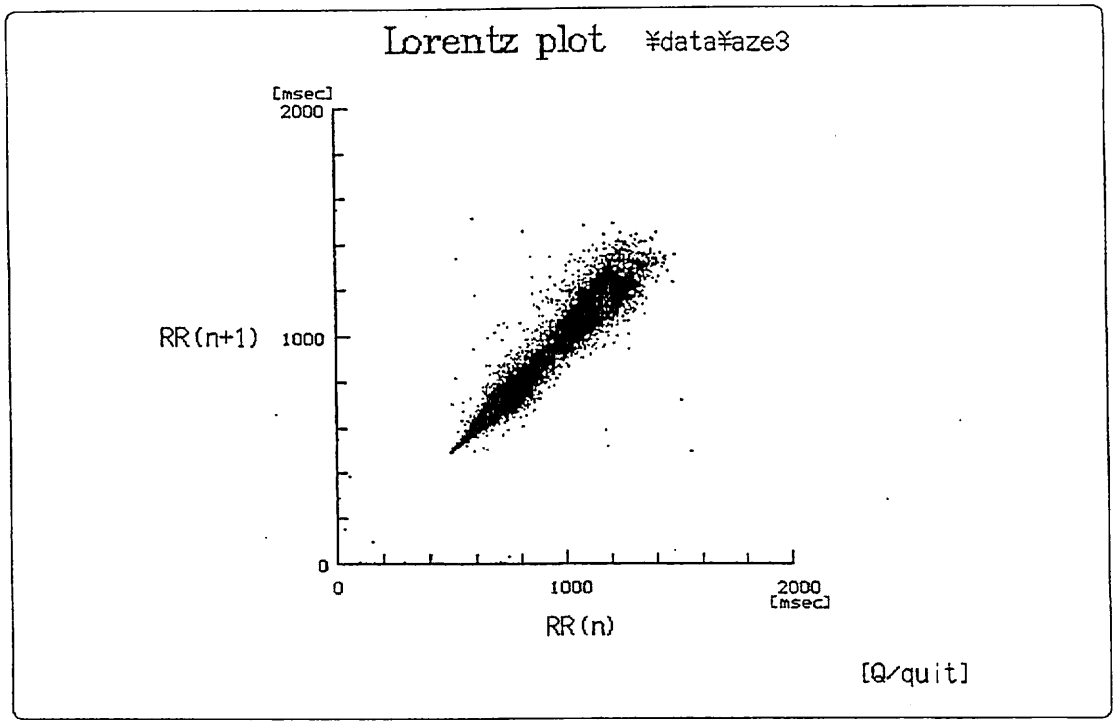


図　４２

○ＲＲローレンツプロットの終了

図４２の表示で〔Ｑ〕を押すと、図３３の「データ解析メニュー」に戻ります。

４－３－１－４　ＥＣＧデータ解析の終了

図３３の表示で〔Ｑ〕を押すと、データ処理メニュー（図１０）に戻ります。

４－４　プリンティングレポート

パソコン上に取り込まれたデータについてレポート作成ができます。

☆操作手順

プリントアウトメニューの起動

メニュー（図１０）で〔４〕を押すと、図４３のように「プリントアウトメニュー」となります。

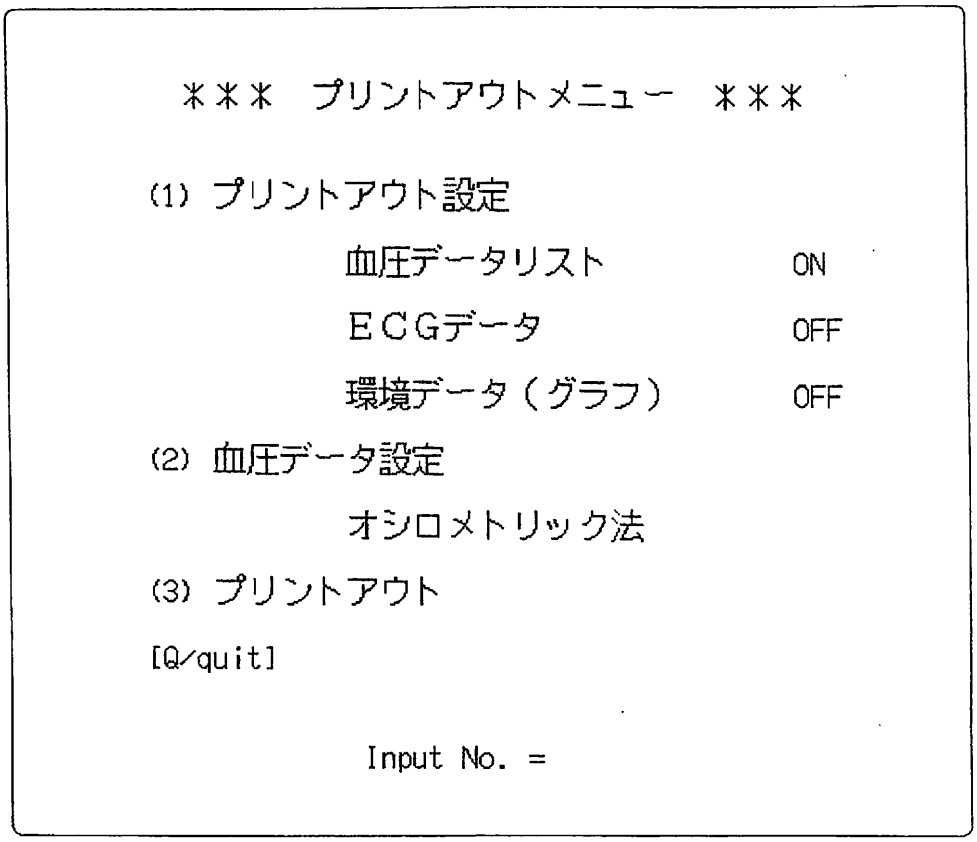


図　４３

４－４－１　プリントアウト設定

図４３の表示で〔１〕を押すと、印刷したいデータの選択ができます。〔↑〕〔↓〕を押すとカーソルが上下に動き、〔←〕〔→〕を押すと印刷の是否が決まります。（ＯＮ：印刷される、ＯＦＦ：印刷されない）

〔ＲＥＴＵＲＮ〕を押すと設定が決定され、図４３のメニュー画面に戻ります。

４－４－２　血圧データ設定

図４３の表示で〔２〕を押すと、印刷したい血圧測定法の選択ができます。〔←〕〔→〕を押すと、「オシロメトリック法」と「コロトコフ音法」が切り替わります。

〔ＲＥＴＵＲＮ〕を押すと設定が決定され、図４３のメニュー画面に戻ります。

４－４－３　プリントアウト

図４３の表示で〔３〕を押すと、設定されたデータの印刷を実行します。

４－４－４　印刷の終了

図４３の表示で〔Ｑ〕を押すと、データ処理メニュー（図１０）に戻ります。